

中小企業景況調査報告書

令和4年 7 ~ 9月期 実績
令和4年 10 ~ 12月期 見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和4年 10月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9~ +10.0	 まあまあ +9.9~ ▲9.9	 不振 ▲10.0~ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和4年7~9月期を対象とし、調査時点は令和4年9月1日とした。
令和4年10~12月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・始良市・湧水町・霧島市
志布志市・大崎町・肝付町・錦江町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 210業
製造業：44企業 建設業：30企業 小売業：59企業 サービス業：77企業

県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
3年 7月 ~ 9月期	 ▲18.9	 ▲13.3	 ▲38.3	 ▲39.0
3年 10月 ~ 12月期	 ▲14.7	 ▲6.7	 ▲30.0	 ▲26.6
4年 1月 ~ 3月期	 ▲24.3	 0.0	 ▲43.1	 ▲48.0
4年 4月 ~ 6月期	 ▲29.6	 ▲6.7	 ▲25.4	 ▲26.7
4年 7月 ~ 9月期	 ▲34.1	 ▲6.7	 ▲33.9	 ▲23.4
来期見通し(10~12月期)	 ▲18.1	 ▲13.3	 ▲25.4	 ▲26.7

総合(業況)

前年同期(令和3年7月~9月期)と比較した今期(令和4年7月~9月期)の業況は、製造業▲34.1(前年同期比15.2ポイント悪化)、建設業▲6.7(前年同期比同6.6ポイント改善)、小売業▲33.9(前年同期比4.4ポイント改善)、サービス業▲23.4(前年同期比15.6ポイント改善)となった。今期については、新型コロナウイルスの第7波が到来し県内の新規感染者数も急速に広がり、従業員にも感染が広まったことにより、従業員を確保できず営業に影響が出た。特に建設業の従業員の確保難は、重要な問題点となっている。加えて原材料の上昇に拍車がかかり、経営に影響があるものの、製造業を除き前年同期よりやや改善となった。

また前期(令和4年4月~6月期)と比較すると、製造業4.5ポイント悪化・小売業8.5ポイント悪化・サービス業3.3ポイント改善となった。

なお、来期(令和4年10月~12月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業16ポイント改善・建設業は6.6ポイント悪化・小売業8.5ポイント改善・サービス業3.3ポイント悪化となる見通しであり、コロナウイルスが落ち着き回復の兆しを見せるものの、さらなる10月から値上げ商品に対する価格の改定増、最低賃金アップなど、中小企業は依然として厳しい状況にある。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 44 企業

調査対象企業内訳：食料品(20)，飲料・飼料・たばこ(5)，一般機械器具(2)，家具・装備品(3)，木材・木製品(3)，プラスチック製品(1)，印刷・同関連(4)，金属製品(3) 窯業・土石製品(1)，その他(2)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
3年 7月～9月期		▲17.5		▲26.3		▲22.5		▲18.9
3年 10月～12月期		▲17.5		▲30.0		▲22.0		▲14.7
4年 1月～3月期		▲23.9		▲35.7		▲19.0		▲24.3
4年 4月～6月期		▲20.4		▲37.2		▲9.1		▲29.6
4年 7月～9月期		▲16.3		▲45.4		▲11.4		▲34.1
来期見通し(10～12月期)		▲9.1		▲36.4		▲15.9		▲18.1

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・半導体製造装置メーカーが活況にあるため、当社も比較的に好調。原材料価格や動力費の上昇が課題。
(金属機械製造業)
- ・借入難が続き、従業員の確保が難しい。原材料の上昇が激しく、秋に価格改正予定だが、この調子で上昇し続けたら来年も改正しないとイケないかもと考えている。
(食酢製造業)
- ・コロナの感染拡大により従業員の休みが多く、満身に製造できない状況が続いている。また燃料価格の高騰や新電力の撤退による影響で生産のコスト増が問題となっている。
(肉加工品製造業)

経営上の問題点

第1位 原材料価格の上昇	52.5%	(前期比 +2.5)
第2位 需要の停滞	15.0%	(前期比 +7.5)
第3位 生産設備の不足・老朽化	7.5%	(前期比 -2.5)

【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(21)，職別工事業(6)，設備工事業(3)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
3年 7月～9月期		▲30.0		▲20.0		▲16.7		▲13.3
3年 10月～12月期		▲16.6		▲20.0		▲10.0		▲6.7
4年 1月～3月期		0.0		▲13.3		▲3.3		0.0
4年 4月～6月期		▲6.7		▲16.7		▲3.3		▲6.7
4年 7月～9月期		10.0		▲23.3		0.0		▲6.7
来期見通し(10～12月期)		▲6.7		▲10.0		▲6.9		▲13.3

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・7月の豪雨災害対応や爆発的なコロナの感染拡大が建設工事の工程進捗に大きな影響を及ぼしている。人材不足の中で休日の確保や最低賃金のアップなど、業界の経営環境は厳しく適正な利潤の確保が欠かせない。
- ・材料価格高騰もさることながら、コロナの影響による海路の遅れも心配である。(一般土木建築工事業)
- ・建築及びリフォームが増加している事に伴う解体及び造成工事の引き合いが多くなった。危険空室等の取り壊しの土地活用が今後増加するであろうから幅広く広告していく必要があると思う。

(造園工事業)

経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	52.0%	(前期比 -8.0)
第2位 従業員の確保難	28.0%	(前期比 +24.0)

【小売業】 有効回答数 59 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(24)，各種商品(4)，織物・衣服・身の回り品(6)，家具・建具(4)
自動車・自転車小売業(1)，その他(20)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
3年 7月～9月期	☔	▲44.0	☔	▲38.4	☔	▲22.8	☔	▲38.3
3年 10月～12月期	☔	▲33.4	☔	▲30.5	☔	▲20.3	☔	▲30.0
4年 1月～3月期	☔	▲48.3	☔	▲43.3	☔	▲27.6	☔	▲43.1
4年 4月～6月期	☔	▲20.4	☔	▲32.8	☔	▲22.4	☔	▲25.4
4年 7月～9月期	☔	▲22.1	☔	▲33.9	☔	▲20.3	☔	▲33.9
来期見通し(10～12月期)	☔	▲22.0	☔	▲22.0	☔	▲11.8	☔	▲25.4

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・仕入単価の上昇により利益率が圧迫されている。仕入単価の上昇を見越しての過剰在庫もキャッシュフローを圧迫している。ある程度、売上は戻ってきたものの、まだまだ先行き不透明。(各種商品小売業)
- ・コロナが長引いており、これからどうなるか分からない。仕入れの魚の高値が続いている。パックやビニール袋の値段も高くなっている。(鮮魚小売業)
- ・もう3年になるコロナ禍の中で、消費者の購買力の低下そして燃料単価の上げ止まりの中で粗利がなかなかとれない現状が続いていて将来への不安が募る。(ガソリンスタンド)

経営上の問題点

第1位 仕入単価の上昇	28.3%	(前期比 +2.3)
第2位 需要の停滞	18.9%	(前期比 +6.9)
第3位 購買力の他地域への流出	11.3%	(前期比 -6.7)

【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(19)，飲食店(24)，自動車整備業(11)，宿泊業(9)
運送業(2)，その他(12)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
3年 7月～9月期	☔	▲30.2	☔	▲39.0	☔	▲26.3	☔	▲39.0
3年 10月～12月期	☔	▲22.1	☔	▲35.1	☔	▲22.1	☔	▲26.6
4年 1月～3月期	☔	▲49.3	☔	▲45.5	☔	▲28.6	☔	▲48.0
4年 4月～6月期	☔	▲15.6	☔	▲37.7	☔	▲17.1	☔	▲26.7
4年 7月～9月期	☔	▲15.6	☔	▲31.2	☔	▲24.7	☔	▲23.4
来期見通し(10～12月期)	☔	▲22.1	☔	▲35.1	☔	▲24.7	☔	▲26.7

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・コロナを気にしてキャンセルするお客様は少なくなって、クーポンを使って利用するお客様が増えた。スタッフがコロナになり人手が不足し営業できない日があり、4月～6月の売上と変わらない。(食堂・レストラン)
- ・デジタル化により証明写真の撮影の減少及び写真のプリントの減少。仕入単価の上昇により利益の悪化。これらの事により来期の見通しも悪化すると思う。(写真業)
- ・今期は、各種工事等前年の水準に回復してきた。コロナ感染者が大幅に増加傾向にあるが、各種イベントが規模縮小ではあるが開催されるようになったので、売上増が期待できる。(警備業)

経営上の問題点

第1位 材料等仕入単価の上昇	31.0%	(前期比 +3.5)
第2位 需要の供給	22.5%	(前期比 +3.7)
第3位 人件費の増加	8.5%	(前期比 +5.6)

全産業【鹿児島県】

2022年7月期～9月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	209	23.9	38.3	37.8	-13.9	210	14.3	54.3	31.4	-17.1
売上（加工）単価・客単価	180	15.6	58.3	26.1	-10.6	180	11.1	71.1	17.8	-6.7
売上（加工）数量	44	11.4	59.1	29.5	-18.2	44	9.1	65.9	25.0	-15.9
客数	59	11.9	44.1	44.1	-32.2	59	11.9	52.5	35.6	-23.7
利用客数	77	19.5	37.7	42.9	-23.4	77	10.4	53.2	36.4	-26.0
資金繰り	210	7.1	68.6	24.3	-17.1	209	5.7	71.8	22.5	-16.7
輸出額	19	5.3	89.5	5.3	0.0	19	0.0	94.7	5.3	-5.3
受注（新規契約工事）額	30	16.7	46.7	36.7	-20.0	30	20.0	50.0	30.0	-10.0
原材料・商品等仕入れ単価	207	78.7	19.3	1.9	76.8	206	63.6	33.5	2.9	60.7
原材料在庫数量	43	7.0	86.0	7.0	0.0	44	6.8	84.1	9.1	-2.3
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	59	49.2	32.2	18.6	30.5	59	33.9	52.5	13.6	20.3
商品・商品在庫数量	102	4.9	78.4	16.7	-11.8	103	1.0	84.5	14.6	-13.6
採算（経常利益）	210	5.2	55.7	39.0	-33.8	210	4.3	63.3	32.4	-28.1
従業員（含臨時・パート）	193	4.7	86.5	8.8	-4.1	192	4.7	72.4	6.8	-2.1
外部人材（請負・派遣）	114	6.1	89.5	4.4	1.8	119	4.2	90.8	5.0	-0.8
設備操業率	43	7.0	81.4	11.6	-4.7	43	7.0	83.7	9.3	-2.3
引合	73	11.0	74.0	15.1	-4.1					0.0
受注・契約残	71	8.5	81.7	9.9	-1.4					0.0
業況（自社）	210	7.6	58.6	33.8	-26.2	208	7.2	63.0	29.8	-22.6

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	209	18.7	47.8	33.5	-14.8					
売上（加工）単価・客単価	179	12.8	67.0	20.1	-7.3					
売上（加工）数量	43	9.3	67.4	23.3	-14.0					
客数	59	13.6	47.5	39.0	-25.4					
利用客数	76	11.8	51.3	36.8	-25.0					
資金繰り	209	4.3	76.6	19.1	-14.8					
業況（自社）	209	6.7	62.7	30.6	-23.9	208	7.2	73.1	19.7	-12.5
受取手形期間	40	0.0	95.0	5.0	-5.0	40	2.5	97.5	0.0	2.5
長期資金借入難度	173	3.5	86.1	10.4	-6.9	174	2.9	87.9	9.2	-6.3
短期資金借入難度（含手形割引）	154	5.2	87.0	7.8	-2.6	158	3.8	89.9	6.3	-2.5
借入金利	172	3.5	94.2	2.3	1.2	173	2.9	94.8	2.3	0.6

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	210	6.7	57.1	36.2	-29.5
生産に対する原材料在庫	43	4.7	90.7	4.7	0.0
売上に対する製品在庫	102	6.9	88.2	4.9	2.0
採算（経常利益）	210	16.2	65.2	18.6	-2.4
引き合	74	8.1	74.3	17.6	-9.5
生産設備	43	4.7	72.1	23.3	-18.6
従業員（含臨時・パート）	195	1.5	83.1	15.4	-13.8